

第50回「建国記念の日」を考える県民のつどい

テーマ 憲法から天皇制を考える

1. 講演 天皇、家族、社会 ～日本国憲法は何を変えたのか～

講師：中富公一（岡山大学法学部教授）

ブリタニカ国際大百科事典によれば、天皇制とは、「明治期から第2次世界大戦終了までにみられた、統治権を総攬する、不可侵の天皇を頂点においた日本の統治システムをさす。さらに古代から現在まで、天皇を重要な統治の要素としてきた日本の政治体制や、それを支えてきた意識を総称する言葉としても用いられる。」とされている。この講演では、日本国憲法の制定により、政治体制および天皇制を支えてきた意識がいかに変化したのかを考察する。

2. シンポジウム 「つどい」50回をむかえて

発表者：「建国記念の日」問題連絡協議会

今回、「『建国記念の日』を考える県民のつどい」は50回をむかえた。そこで、これまでの活動を振り返りつつ、これからについて、構成団体の意見を交えつつ、考えていきたい。



日時 2018年2月11日(日・祝日) 13:30～開会 (閉会16:30頃)

場所 岡山大学文法経講義棟11番講義室 ※できる限り公共交通機関をご利用下さい。

※事前申し込み不要 資料代500円(学生300円)。 駐車は有料(1時間無料、後1時間ごと200円)です。

主催「建国記念の日」問題連絡協議会 連絡先：岡山県歴史教育者協議会 TEL 086-256-0624 (夜のみ)

岡山県高等学校教職員組合 岡山県民間教育研究サークル連絡協議会 岡山県私立学校教職員組合連合 岡山県平和委員会
岡山県歴史教育者協議会 岡山大学職員組合 憲法改悪阻止岡山県各界連絡協議会 (岡山県憲法会議) 考古学研究会 日本科学者会議岡山支部